

和歌山大学 経済学部同窓会

柑 芦 ニュース



柑芦会本部 事務局
〒540-0012 大阪市中央区谷町
4-4-17-207
電話 大阪06-6941-4986
FAX 大阪06-6947-7925
印刷 東洋紙業高速印刷株式会社

白寿を迎えた経済学部

柑芦会会長 青柳 明雄(大16)



和歌山大学経済学部の前身である和歌山高等商業学校が創立されたのが1922年(大正11年10月)であることをご存知の方も多かろうと存じます。本年は人に例えるならば満98歳(数え年の99歳)を迎えることになり白寿をお祝いするところでございます。

時代の変遷とともに、和歌山大学経済学部も生成発展を遂げてこられました。昨今の我が国の急速な社会構造の変化の中、ややもすると波に遅れがちであると憂慮される卒業生の皆様も多いのではないのでしょうか。

しかし此処は踏ん張りどころ、時代の要請に応え「あるべき大学」へ向け懸命に改革に取り組み、ご尽力されている大学関係者の皆様に激励させていただくのが同窓会の役割だと存じます。会員の皆様方に於かれましては母校ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。また、近年柑芦会各地支部の活動が、残念ながら停滞気味でございます。全国でご活躍中の若い会員の皆様に於かれましては、ご多用とは存じますが是非とも積極的なご参加を賜りますようお願い申し上げます。

大学の新しい使命リカレント教育

和歌山大学長 伊東 千尋



柑芦会ならびに会員の皆様には、日頃より本学の教育研究活動に多大なご支援をいただき、衷心より感謝申し上げます。

大学は、従来、高等学校を卒業し大学へ入学した学生を教育してまいりましたが、18歳人口の減少期(全入時代や厳しく言えば大学倒産時代とも言われます)に入り、従来型のビジネスモデルを踏襲するだけでは大学の存立が危ぶまれる事態が生じかねない状況にあります。このような中、大学の新しい使命として社会人学び直し(リカレント教育)が挙げられています。和歌山大学も社会人教育に積極的に乗り出すことを決断いたしました。本年度、有料の社会人向け先端技術教育講座として、AI基礎コース、データサイエンス基礎コースの二つを開設いたしましたところ、40名を超える社会人の皆さんの参加を得ました。今後、複数コースの設置や松下会館での実施を含め、本学の地域貢献、そして教育事業の一つの柱として、リカレント教育を育ててまいります。今後とも皆様のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

経済学部・大学院改革を目指して!

経済学部長 マグレビ・ナビル



2019年度は、激動の1年でした。全国の経済学部も同様ですが、社会的な学部不要論の圧力の中で、経済学という学問の有益さ・豊饒さ・持続可能性を図るべく大学院改革を実行するべく力を尽くしてきました。学部長としての仕事は学部・研究科全体のマネジメントだと思います。教職員の動機を奮い立たせるために学部長自らの指針が重要でもあり、少し先の未来を予想したうえで、必要とされるもの、現在準備が不足していると思われるものなどを考え続けてきました。そして大学院は2021年度には改革の明かりが見えてきています。この明かりは今後も絶やすことなく照らし続けたいと考えています。その意味で2020年度は実行のための準備の年でもあります。地方の大学ではありますが、むしろ地方の大学であるからこそグローバルに物事を見、考える必要性があります。また少子化だからこそ、多様な人材の協働が必要です。そしてこれら理念を教育において実行するために必要なことがたくさんあります。2020年度も多々ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご協力をお願いしたいと考えております。

(大学院改革については次号柑芦誌(51号)に掲載予定)

和歌山大学サイバロンプロジェクトのご支援の御礼と近況のご報告

本年5月にスイス チューリッヒにて開催されますサイバロン2020大会への出場に向け、準備を進めています。

柑芦会会員の皆様から様々なご支援を賜り、感謝申し上げますとともに、大変心強く思っています。

私どもの機体RT-Mover PType WA Mk-IIは、他のチームとは異なり、脚車輪機構による移動にこだわり、研究開発を進めております。本番では、ダイナミックな動きをご覧いただけることでしょうか。パイロットの守田昌功氏も機体操作に慣れ、課題クリアタイムを1秒でも短くできるよう、本番モードで練習に励んでいます。

皆様からのご期待を力に、優勝を目指して日々挑戦を続けてまいります。

本プロジェクトへさらなるご賛同いただけましたら幸いです。引き続きの皆様からの応援、何卒よろしくお願いいたします。

和歌山大学サイバロンプロジェクト

<https://web.wakayama-u.ac.jp/~nakajima/cyathlon/index.html>

(システム工学部 菊池 邦友)



国立大学法人評価委員会による 平成30年度の評価内容

和歌山大学は、地域貢献型を目指しており国立大学法人評価委員会において、次の3点が評価されています。

(1)観光学部の取組

国内の大学として初めて観光学部が国連世界観光機関(UNWTO)の観光教育・訓練・研究機関認定(tedQual)を受けたことに伴い、機関からの指摘等を踏まえ改善点を検討し、今後の大学院プログラムにおけるtedQual認定に結びつけるための検討を進めている。また、「観光とSDGs」をテーマとしたセミナーや研究ユニット主催のセミナーなど、研究成果を発信するセミナーを計21回開催し、若手研究者や博士課程学生の研究発表の機会とするなど、研究の活性化を図っている。

(2)経済学部の取組・・・香村賞

起業を促す取組や学生の勉学意識と社会的貢献意識の向上、及び就職支援・創業支援を目的として、全学生を対象に「香村賞ビジネスプラン」コンテストを開催している。コンテストでは「ビジネスプラン部門」や「わかやま創生プラン部門」を



設定し、実現性や地域性を考慮した審査を実施しており、将来起業を志す学生にとっての「登竜門」となり、起業への意欲へと繋がっている。これらに加えて、平成30年度には試行的に起業者の発掘、孵化、育成等を目的としたアントレプレナー教育を行っており、50名程度の起業希望者が参加している。

(3)システム工学部の取組

文理融合型の数理・データサイエンス教育の推進、高度情報技術人材の育成や総務省統計局、独立行政法人統計センター、和歌山県と連携協定を締結し、初級から上級までのデータサイエンティストの育成や教育開発、データ利活用に関する研究開発を共同で実施している。具体的な取組として、データサイエンスセミナーを共同で開催(学内外から学生、社会人等151名が参加)するとともに、2019年度開講の数理・データサイエンス科目の講師を総務省統計データ利活用センター及び和歌山県から派遣してもらっている。

支部だより

●神戸 2019年度活動状況

神戸支部では、支部総会、新年会の他に、勉強会、同好会、趣味の会を定期的に開催し、会員相互の親睦を深めておりますが、これらイベントの内、2019年度に開催された支部総会と新年会について以下にご紹介します。

☆支部総会☆

・開催月日・場所：2019年10月5日(土) (於)生田神社会館
・出席者：61名(内訳：ご来賓15名、会員40名、現役学生6名)
ご来賓を代表してご挨拶された伊東学長からは和歌山大学創立70周年記念事業に対する取組について熱い想いを語って頂きました。総会では2018年度の活動報告、会計報告、2019年度の事業運営方針、会計予算案が審議されいづれも異議なく承認されました。

懇親会では、経済学部竹内ゼミの学生によるプレゼン、和歌山大学交響楽団による演奏に始まり、講釈師・旭堂南海師匠による講談「雑賀孫



伊東学長



懇談風景

●姫路 支部総会開催

令和元年11月2日(土)に令和元年度姫路支部総会を「ホテル日航姫路 桃李」で開催しました。

来賓として本部から浦事務局長、大阪支部から野田事務長、神戸支部から吉田副支部長、岡山支部から真下支部長の出席をいただき、支部会員として経済学部19名、教育学部3名の総勢26名が年一度の総会に集いました。初参加の会員も2名含まれており、今後も同窓の環を広げていきたいと切に願っているところです。

姫路支部では、従来の「和歌山大学相芦会姫路支部」から発展させ、「和歌山大学同窓会姫路支部」として開催しており、システム工学部や観光学部卒業生にも、支部会員の

市＝信長も畏れた男＝」、和太鼓集団「ホッと太鼓」による太鼓演奏と続き、和気藹々楽しいひと時を過ごした後、寮歌「花の霞に」を斉唱してお開きとなりました。

☆新年会☆

・開催月日・場所：2020年1月25日(土) /生田神社会館

・出席者：49名

大学からはマグレビ経済学部長夫妻(大和経済学部大学院卒)、阿部経済学部准教授、ソフトテニス部所属の現役学生4名に加え来日中のニュージーランド国立ワイカト大学のホームズ教授(NZ国の経済学会長)にもご参加頂きました。

新年会での出し物は、ソフトテニス部現役学生さんの今年の抱負ご披露、落語家・桂紋四郎師匠の新春初笑い落語、和太鼓集団ホッと太鼓(団長：大学20期卒辻さん)による「源平合戦＝生田の森の戦い」の演奏と続きました。

懇親会開始にあたっての乾杯のご発声は、高商18期卒・田畑脩三様にお願ひしました。そして、同年代の方々にお集まり頂いたそれぞれの円卓では、食事をしながら学生時代の思い出話や近況報告等に花が咲き時間の立つのも忘れ大いに盛り上がり、歓談の興奮冷めやらぬ後2時半過ぎ、大学1期卒・柳瀬繁次郎様の中締めのご挨拶で名残惜しくも新年会はお開きとなりました。

以上
(神戸支部長 平林義康 大20)



マグレビ学部長夫妻・ホームズ教授

つながりから声掛けをし、「大学同窓会」として今後も他学部とも交流していきたいと思っています。

恒例のミニ講演では、大29期の長永利男氏による「爽快ランニング(走快)の勧め」を拝聴しました。ランニングを始めたきっかけからこれまでの競技歴等も楽しく講演していただきました。

また、大学学長からの大学改革等のメッセージもビデオ映像にて拝聴しました。

続く懇親会では、有志の近況報告を交えて酒宴が大いに進みました。そして、懇親会の最後を飾る「花の霞に」の大合唱で一次会が終了、来年の再会を誓い、さらに二次会三次会で懇親を深めました。

(幹事長・栄藤雅雄 大31)

●岡山 岡山支部活動報告

I. 活動実績

1. 支部再建の集い

[2019年3月23日]

- ・倉敷駅隣の喫茶店にて、9人参加(参加率4.3%)。
- ・趣味、好きなことを中心に楽しくやることで一致。

2. 文化講座

[2019年9月21日]

- ・倉敷公民館にて、13人参加(参加率6.2%)
- ・「紀州の古代史」をテーマに、大阪在住の古代史に詳しい会員(15期)を招いて講演・質疑応答し、当時の

●東京 東京支部総会に参加して

大学を卒業してから、なかなかタイミングが合わず、今回念願叶ってといいますか、東京支部総会に参加することが出来ました。参加するにあたり、どのような会なのか情報もないため、少し緊張気味に周りを観察していると、普段着の方も多く、経済学部のみならず、他学部のOBの皆様もいらっしゃって、気軽に話しかけてくださり終始リラックスしたムードでした。総会では、学長より大学の現状や今後の展望、学部長の講演、休憩時には先輩OBの方のホルン演奏、寮歌の合唱やプレゼントなど盛りだくさんの内容で、大いに盛り上がった会となりました。また、和歌山より現役生たち

紀氏、葛城氏の役割が判った。

[2020年2月22日]

- ・第2回文化講座を岡山国際交流センターにて実施、14人参加。
- ・「日本の公的年金制度」をテーマに、岡山在住の一級ファイナンシャルプランナー(25期)に講演願ひ、質疑応答した。

3. カラオケ愛好会の結成と実施

[2019年11月23日]

- ・女性1名含む6名が参加。20代~70代の幅広い世代がバランスよく集い、それぞれのおはこを歌いあった。今後とも継続を申し合わせる。(岡山支部長 真下義則 大15)

も参加、活動報告があり、普段知ることができない、現役生が様々な課題に挑戦している姿は、大変誇らしくもあり、刺激を受けることができたのは大きな収穫でした。そして、最後は第1期生の先輩よりも興味深いお話を伺うことができ、母校への気持ちを新たにすることができました。今後ともぜひ参加させていただきたいと思っております。有難うございました。

(宮本千弘 大42)



●三重 2019年度総会

三重支部2019年度総会は、2019年11月23日(土)、津駅隣接の「グリーンパーク津」にて開催されました。今回はご来賓としてご出席頂いた浦柑芦会事務局長、野田大阪支部事務長、伊藤東海支部副支部長を含め総勢14名での総会となりました。

総会では和歌山大学経済学部の辻本教授(三重県出身)を講師に招き「MaaSをはじめとする新しいモビリティサービスについて」と題して講演を頂きました。また、その後の懇親会では会員の近況報告や寮歌斉唱を行い、楽しいひと時を過ごし散会しました。

総会への参加者は減少傾向にありますが、今回の総会では大学57回の方の参加もあり、今後も出来るだけ多くの方に参加いただけるよう努力していきたいと思っております。

(三重支部主要役員 敬称略)

- 支部長 井上俊一 (大18)
- 副支部長 小谷 剛 (大20)
- 副支部長 太田 均 (大22)
- 副支部長 水谷正道 (大26)
- 相談役 春山健児 (大6)
- 相談役 藤澤真純 (大12)
- 幹事長 山際雅彦 (大31)
- 副幹事長 加藤泰三 (大27)

(山際雅彦 大31)



● 京滋 京滋支部総会開催報告

令和元年11月16日京都の中心街四條烏丸の烏丸京都ホテルに於いて、正午より柑芦会京滋支部総会及び懇親会が華やかに開催されました。足立基浩副学長、マグレビ・ナビル経済学部長、青柳明雄柑芦会会長、大阪支部から北村副支部長、神戸支部の中原幹事長の来賓5名ほか4名のゲストを加え、13名の京滋支部会員の合計22名が、中国料理「桃李」の丸テーブルを囲んでの開催となりました。

開会の冒頭は和歌山大学名誉教授だった故三上隆三先生への黙祷でした。

来賓からの挨拶では大学の現状と、今後の方向性について、環境設備の充実のための寄付依頼、柑芦会活性化のための取り組みなどの発言。支部長からの昨年度活動・会計報告と監査結果についての報告を了承し、親睦会へ移行しました。

親睦会では京滋支部長の懇意にしているサクソ奏者の清水利香さん余興ゲストに迎え、最長老の大学1期生北林修治さんの乾杯の発声にあわせたサクソ演奏で会が始まりました。各自の近況報告の合間にも演奏していただくことで、さながらほろ酔いコンサートの様相。和やかさに話も弾みました。

(京滋支部長 和田壽郎 大14)



● 徳島 徳島支部新年会兼講演会開催

徳島支部では毎年恒例としている新年会と講演会を令和2年1月17日(金)に徳島駅に近いホテルアストリアにて10名が参加して開催しました。

新年になってからは初めて会員が顔を合わせたということもあり、講師先生にお許しをいただいて講演が始まる前に少しお神酒も頂き、和やかな雰囲気の中お話を聴くことになりました。

近年開催している講演会は、徳島に関する歴史や文化をテーマとしており、今回の演題は、『やまと国とは』と『カヤに恋して』の2つで講師はいずれもやまと国研究会会員・世界農業遺産の剣山系支援協議会会長の永井英彰氏にお願いしたものでした。

永井先生は、「耶馬台国は魏志倭人伝では耶馬壹(やまと)国」と記さ

れており、それは阿波(徳島)であることを大嘗祭の儀式に欠かせない「あらたえ(荒い麻布で織った服)」を延喜式に基づき、徳島から運ばれていることが最大の根拠であると話されました。

参加した会員は、前回までの講演で得た知識なども踏まえ熱心に質問をし、和歌山大学卒業生として、そして徳島県人であるという2つのアイデンティティを絡ませながら、情報交換と親睦を深め合いました。

ちなみに「カヤ」とは屋根を葺くのに用いる草木の総称で、農業に肥料などとして環境にやさしく利用するのも有効であるとのことでした。

(徳島支部長 多田昭弘 大26)



柑芦会 支部一覧表

支 部 名	連絡先	電 話	支 部 長	幹 事 長
和歌山	和歌山 山中全会事務所内 和歌山支部 事務局	073-423-1231	久山 稔(大6)	坂本 漸(大8)
大 阪	大阪、奈良 大阪支部事務所	06-6941-4986	奥山 泉(大15)	西本 正人(大23)
東 京	東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、山梨、長野、栃木	東京支部事務所 03-3366-3680	末廣 利明(大26)	小林 淳(大30)
東 海	愛知、岐阜 (有)あずさ監査法人 名古屋事務所岡野 英生様	052-589-0500	山口 央(大24)	岡野 英生(大30)
神 戸	兵庫(東播磨、北播磨、丹波以東および淡路)	中原憲造様方 090-3657-8127	平林 義康(大20)	中原 憲造(大25)
京 滋	京都、滋賀 和田 壽郎様方	075-581-4120	和田 壽郎(大14)	宮下 剛(大46)
北海道	北海道 田中 廣様方	0145-25-2801 (FAX)	田中 廣(大19)	
東 北	青森、岩手、秋田、山形、福島、宮城 菊池 静様方	080-1824-2688	菊池 静(大46)	
北 陸	富山、石川、新潟 林 国敏様方	076-205-1916	林 国敏(大41)	
福 井	福井 清水 啓司様方	0776-21-8700	江波 庄進(大24)	清水 啓司(大31)
静 岡	静岡 澤田 務様方	055-986-5223	澤田 務(大14)	
三 重	三重 山際 雅彦様方	0596-72-8025	井上 俊一(大18)	山際 雅彦(大31)
姫 路	兵庫(神戸支部以外) 毛利会計事務所気付	079-283-1250	毛利 恵行(大25)	栄藤 雅雄(大31)
岡 山	岡山 本多 康重様方	090-4840-2565	真下 義則(大15)	本多 康重(大17)
広 島	広島 山本 正博様方	0829-55-0872	山本 正博(大11)	
山 陰	鳥根、鳥取 友定 雅紀様方	090-5696-0212	吉村 政憲(大17)	友定 雅紀(大24)
山 口	山口 宮本 高司様方	0838-26-8523	宮本 高司(大24)	橋本 尚明(大26)
徳 島	徳島 三村 清美様方	090-1578-7941	多田 昭弘(大26)	三村 清美(大36)
高 知	高知 西川 博様方	088-833-7274	西川 博(大21)	
香 川	香川 山上 武司様方	087-847-3185	島田 新市(大22)	梶 正司(大31)
愛 媛	愛媛 三浦工業(株)内	089-979-1230	門屋 孝博(大35)	
九 州	九州全県 石川 和彦様方	090-1876-1674	石川 和彦(大19)	
沖 縄	沖縄 當真 一男様方	098-932-2787	當真 一男(大28)	大城 直輝(大46)
北 米	アメリカ 6 Teramo Ct. Newport Coast, CA USA 92657	213-610-7578	田中 昌平(大19)	西川 謙爾(大1)

(大学) 学部支援室 経済学部分室長 長谷 浩 (会長) 青柳 明雄(大16) (事務局長) 浦 義弘(大17)

『Gateway Saloon 柑芦会』のご案内

(ゲートウェイサロン・こうろかい) 柑芦会

就職や就職活動での悩みをはじめ、仕事や業界というものについての漠然とした疑問や、これからの自分の進路や人生に関する不安などについて、先輩としての「アドバイザー」が、これまでの経験や体験(失敗談や苦労話を含む)を踏まえ、また人脈を生かしての相談にも乗りますので、どうぞお気軽にお越しください。

記

1. 場所: 西3号館(経済学部棟)1階110号室(相談室)
2. 日時: 毎週 月曜・水曜・金曜 12:00~15:00 (8~9月、2~3月は休業します)
3. 利用方法: アドバイザーがサロンに居ますので、気軽にお立ち寄りください。
※「予約」された場合は、17時ごろまで利用できます。
「事前予約」なしでも利用できます。
※「時間外」の場合は、必ず「予約」してください。
4. 予約方法: ①サロン入口の「予約表」に記入する。または
②下記宛にメール連絡する。
・柑芦会本部: honbu@kourokai.com
5. アドバイザー: アドバイザーは、様々な業界のOB・OGから人選しています。
6. 利用可能者: 全学部、全学年(大学院を含む)の現役学生、留学生、卒業生
7. お問い合わせ先: ①経済学部・サポート室
②柑芦会本部事務局 ☎06-6941-4986

柑芦会では、各種電子媒体の活用により「参加型の広報」活動を展開しています

まずは柑芦会ホームページにアクセスしてください。柑芦会本部や各支部、和歌山大学の最新情報が手に入るだけでなく、各支部や地域のイベント情報、クラブやゼミのOB会の案内等をあなたから「発信」もできます。また、毎月定期的に「メルマガ」で情報を発信している支部もありますので、是非あなたのアドレスを登録(変更した場合は再登録)してください。さあ、あなたも「参加型の広報」を活用しましょう!

利用目的	利用方法	メリット・特長
①本部や各支部のイベントや、所在地・連絡先・役員名などの情報が見たい	【柑芦会ホームページにアクセスする】 ・パソコンやスマートフォンから: ①インターネットに接続し、検索エンジン(GoogleやYahooなど)を開く ②「こうろかい」(ひらがなでOK)と入力し、検索する ③検索結果一覧の中から「和歌山大学経済学部同窓会柑芦会」をクリックする	・公式ホームページのため、会則や各支部の所在地・連絡先などを知ることができる ・各地の支部総会ほか各種イベントのほか、クラブやゼミの情報なども随時掲載されている ・イベントの記録などは、過去の実績も検索しやすい
②本部や各支部や和歌山大学のイベントやお知らせなどの「最新情報」が見たい ③各種の投稿に対して自分の意見も言いたい ④各支部やクラブ・ゼミのOB会などの案内を投稿したい	【フェイスブックの「柑芦会オフィシャルページ」にアクセスする】 ・パソコンやスマートフォンから: ①上記「柑芦会ホームページ」のトップページで、「フェイスブック」という青色文字をクリックする ②「グループ」を選択しクリックする(スマホの場合は、画面の「QRコード」を読み込ませてもよい) ③「メンバーリクエスト」をして管理者の承認を得る ※「オープンフェイスブック」を選択した場合は、柑芦会や和歌山関係者以外も閲覧・投稿できるオープンなサイトにつながります	・投稿者が全国におられるため、「ホームページ」よりは頻りに情報が更新されているので、「最新情報」が得られやすい ・メンバーになると、閲覧だけでなく、記事や写真の投稿もできる ・柑芦会や和歌山関係者のみが閲覧・投稿できる非公開グループなので、安心して利用できる
⑤本部への問い合わせや、住所・メールアドレスの登録・変更などをしたい	【柑芦会ホームページにアクセスする】 ①上記「柑芦会ホームページ」のトップページで、「メールの登録や各種お問い合わせ」をクリックして、必要事項を記入し、送信する	・各種イベントへの「参加申し込み」もできる ・転勤や迷惑メール対策でアドレスを変更した場合も、知らせておけば、「柑芦」誌や「柑芦ニュース」、メルマガなどが届く

基金室だより

2019年度の寄付実績は、大学創立70周年記念事業基金の設立もあり、昨年4月から12月末までの9ヶ月間の寄付額は、5,860万円でした。これは、昨年実績の4倍を超えるものです。累積額では、2億2,455万円余りに到達しました。これに伴う基金の活用額は、累計では5,994万円に達しています。

主な活用先としては、「学生諸活動支援」(体育・文化の課外活動など)事業、「学生奨学支援」事業、「クリエ・ソーラーカープロジェクト」事業、「グリーンイノベーション」事業などの特定目的支援事業が挙げられます。

また、大学創立70周年記念事業基金への寄付額は、3,170万円となりまして、寄付額全体の半分以上となります。柑芦会のOB・OGの皆様を中心にたくさんの方々からご寄付を賜りましたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

大学創立70周年記念事業基金の募金目標額を3億8千万円としております。

引き続き、募金目標額の達成のため、柑芦会会員の皆様方には基金へのご寄付を増やしていただくか、あるいは繰り返しのご寄付をお願いいたします。

柑芦会会員の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。(詳細は、和歌山大学のホームページのトップ画面から「和歌山大学基金」をご確認ください。)

(基金室担当 西本正人 大23)

第9回和歌山大学ホームカミングデーの開催 (和歌山大学創立70周年記念式典と同時開催)

今年のホームカミングデーは、令和元年10月26日土曜日(第四土曜日)に、和歌山大学教育学部附属中学校体育館において、和歌山大学創立70周年記念式典と同時開催として、卒業生と教職員、学生、地域の方々など、総勢300名が集まって盛大に開催されました。

午後1時30分より歓迎式典が行われました。まず伊東学長より式辞が述べられ、続いて来賓祝辞のなかで青柳同窓会会長が祝辞を述べられました。歓迎式典の最後に学歌斉唱をアカペラサークルの先導によって、参加者全員で歌いました。式典の後、永井理事の進行により、テーマ「『新制和歌山大学のルーツを辿る』～高松と真砂キャンパスの思い出～」と題して、青柳同窓会会長、岡村後援会副会長との三人で鼎談が行われました。この鼎談を聞いた卒業生の皆様方も学生時代を思い出しながら、懐かしく聴いておられました。

また、式典会場には和歌山大学のこれまでの歴史が分かるように、写真パネルの展示が用意され、明治8年の和歌山県の師範学校の設立から平成20年の観光学部の設置までの写真パネルが沢山並べられ、和歌山大学の歴史と伝統の深さを実感

いたしました。

さらに、最近の学生のクラブ活動の成果を分かりやすくパネル展示にされていて、卒業生から見て最近の学生も随分と頑張っているんだなと感心させられ、ほっと安心させていただきました。

午後3時に歓迎式典が終了となり、場所を高松地区の松下会館に変えて午後4時から創立70周年記念祝賀会が、卒業生や教職員、地元の皆さん方と約100名の参加者で開催されました。伊東学長の挨拶にはじまり、ご来賓として和歌山県知事、和歌山市長、衆・参議員の方々やパナソニックの役員様からご祝辞をいただき、藤本理事の乾杯の発声により祝賀会が始まりました。

大学の吹奏楽団の素晴らしい演奏を聴きながら、美味しいお料理をいただき、久しぶりに会った同窓生との懐かしい話に花を咲かせて、本当にすばらしいホームカミングデーを満喫いたしました。お世話いただいた関係者の皆様、大変お世話になりました。お疲れ様でした。本当に素晴らしいひとときでした。また、来年もお元気で会いましょう。

(ホームカミングデー担当 西本正人 大23)

第10回香村賞ビジネスプランコンテスト

第10回「香村賞ビジネスプラン」コンテストの最終審査会が令和元年12月3日に開催されました。学生の勉学意識と社会的貢献意識の向上、及び、就職支援・創業支援を目的に平成22年から開催され、令和元年度で第10回目を迎えました。

「ビジネスプラン部門」に19件、「わかやま創生プラン部門」に6件で合計25件と、昨年度(10件)と比べ倍以上の応募がありました。一次審査を通過した「ビジネスプラン部門」9件、「わかやま創生プラン部門」3件が最終プレゼンテーション審査に進みました。最終審査に臨んだ各プランは、いずれもレベルが高く甲乙つけがたい内容でしたが、審査の結果、各受賞プランが決定されました。

ビジネスプラン部門

優秀賞

◇プラン名:もらって嬉しいクリアシート小物
(経済学部3年 加藤 都、上坂理奈、下田温美)

奨励賞

◇プラン名:ワンタッチベルト
(経済学部1年 堂西晴香)

◇プラン名:社会課題を解決する印刷製品「あなた、じしん」

(経済学部3年 河盛泰成、清瀧祐花、迫田瑞巴)

特別賞

◇プラン名:人生がより充実する旅雑貨
(経済学部3年 高家円香、坂本涼歌、大久保尚貴、辻 琴音)

わかやま創生プラン部門

紀の国大学賞

◇プラン名:ジオフォーリズム:みんながハッピーになれる観光支援の仕組み

(システム工学研究科2年 志垣沙灯子)

大学の起業支援の取り組みもあり、起業を目指す学生からの応募が、ここ2,3年で増えてきました。今後は、香村賞設立趣旨である「学生の勉強の場」の解釈を広げ、商品やサービスの実現化を目指す学生のためにアイデアを競う部門と起業希望学生が実現のために挑戦する部門へと見直す予定です。

和歌山大学創立70周年記念事業基金へのご寄附のお願い

柑芦会並びに会員の皆様には、平素より本学運営に多大なご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

さてご高承のとおり、和歌山大学は、昭和24(1949)年に学芸学部と経済学部の2学部で発足し、その後平成7(1995)年にシステム工学部、平成20(2008)年観光学部を創設し、4学部体制で教育、研究、および社会・地域貢献等の使命を果たすべく全力を尽くしているところでございます。

昨年、和歌山大学は創立70周年の記念すべき年を迎えるにあたり、「そしてここから」をスローガンに70周年記念事業基金を創設いたしました。お陰様で、昨年4月から12月までの9ヶ月間で柑芦会会員の皆様から頂きました寄付金は、231件、3,838,000円になりました。ご支援を賜りました会員の皆様方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

この事業は、和歌山大学が開かれた大学として、地域とのパートナーシップを深めるために実施する「和歌山大学高松地区 松下会館再生事業」と「和歌山大学栄谷キャンパスグラウンド改修事業」の二つからなりますが、とくに、「和歌山大学高松地区 松下会館再生事業」は、第3期中期計画中期目標に掲げる「地域と融合する大学」を具現化するシンボルとして、その価値を再生し、生涯教育及びリカレント教育を展開する場として活用することを目標とします。

地域に寄り添う身近な大学としての基盤を、70周年を機会として整備するこの記念事業を成功に導くために、柑芦会会員の皆様方には、更なるご寄附、ご検討賜りますようお願い申し上げます。

柑芦会の今後益々のご隆盛と会員の皆様がたのご健勝をお祈り申しあげ、お願いとご挨拶とさせていただきます。(学長 伊東千尋)

令和元年度 課外活動状況

2019年6月22日～23日和歌山大学の当番で行われました、令和初年度大会となる第54回和歌山大学・滋賀大学二大学学長杯争奪総合定期戦において12勝9敗と見事、5連覇達成いたしました。

また、近畿地区の12の国立大学が集まり、競う「近畿地区国立大学体育大会」の成績は、総合では男子が第6位、女子が第7位となりました。

◆将棋部

和歌山大学・滋賀大学二大学学長杯争奪総合定期戦にオープン競技として、初参し記念すべき1勝を収めました。

なお、滋賀大学とともに大学創立70周年を記念して、企画したもので、次年度からは正式競技種目となります。

◆硬式野球部

近畿学生野連盟第1部に所属の硬式野球部は、2019年度春季リーグで惜しくも第2位となりましたが、経済学部4年生田淵 公一郎さんが、1季盗塁連盟新記録の18盗塁を達成し、春季の「敢闘賞」・「ベストナイン」に、また、経済学部2年生白石 雄大さんが遊撃手として、「ベストナイン」に選出されました。

◆ヨット部

2019年6月29日～30日にかけて新西宮ヨットハーバーにて開催されました2019年度関西学生女子ヨット選手権大会で上位入賞し、2019年9月20日～23日にかけて開催された第28回全日本学生女子ヨット選手権大会に出場しました。

結果、470級【経済学部3年生森井愛・経済学部2年生山田 志保美ペア】16位/44中、スナイプ級【観光学部4年生亀井 明日香・観光学部4年生川崎 穂香ペア】18位/32中、総合成績9位/20中と好成績を収めました。

◆柔道部

和歌山大学が当番で2019年7月13日、和歌山ビッグウエーブで開催の第57回近畿地区国立大学体育大会柔道競技の部において、システム工学部4年生増田 拓海さんが「男子個人」で見事優勝。また、団体でも3位入賞と健闘しました。

◆フライングディスク部

2019年8月27日～28日開催「第30回全日本大学アルティメット選手権大会関西・中四国地区予選」に参戦し、第3位となり、9月21日～22日の本選に駒を進めました。結果は第8位。よく健闘してくれました。

◆弓道部(女子)

2019年8月28日開催第57回近畿地区国立大学体育大会弓道競技が、神戸大学弓道場にて開催され、「女子団体戦」において、見事優勝しました。

◆男子バスケットボール部

関西学生バスケットボール連盟所属の男子バスケットボール部は、今年度第3部リーグ第6位でスタートし、10月17日に全リーグ戦を終え、8勝3敗の4位となり、来季からの2部昇格を決めました。

◆女子バスケットボール部

関西女子学生バスケットボール連盟第4部一に属する女子バスケットボール部もリーグ戦で準優勝し、入替戦にも勝利し、来季3部昇格を決めました。

なお、このリーグ戦において、観光学部3年生藤原 葉月さんが4部の優秀選手賞に選ばれました。

◆少林寺拳法部

2019年11月4日千葉県千葉ポートアリーナにて開催されました第53回少林寺拳法全日本学生大会において、観光学部1年生の相原 龍之介さん、同じく観光学部1年生三好楓さんが組演武男女白帯緑帯の部で見事2位入賞をいたしました。

◆準硬式野球部

全関西選抜チームとして、外野手で経済学部2年生の山本 晃靖さんと女子マネージャーの経済学部3年生迫田 瑞巴さんが、関西地区7リーグの代表に選ばれ、2019年11月15日～11月17日開催の第37回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会に出場しました。更に、山本 晃靖さんは、台湾遠征メンバーにも代表選手に選ばれ、台湾大学トップリーグ4校との交流試合である第9回友好親善大学準硬式野球交流大会(2019年11月23日～28日)に参加いたしました。

◆新設サークル

2019年度は3団体が新設されました。

▶和歌山大学編入生サークル(WAPPEN)

3年次編入を考えている学生に対し、受験前の相談に乗ったり、入学後の授業等の相談に乗ったりして、3年次編入生をフォローアップする団体です。

▶競技かるたサークル-紫雨-

小倉百人一首を用いて全日本かるた協会が定めた規則に則って行う競技で、各協会が主催する大会へ出場しています。

▶WANT TO

教師を目指している学生が、率先力等を身に着けるために、自分たちで教材を作ったり模擬授業をしたりしています。